

藍住町 議会だより

第74号

平成25年8月25日

発行 藍住町議会
編集 議会だより編集委員会
徳島県板野郡藍住町奥野
字矢上前 52-1

TEL (088)637-3127

FAX (088)637-3156

<http://www.town.aizumi.tokushima.jp>



あいずみ商工会納涼祭

目次

6月定例会

議長・副議長の改選	P.3
町からの主な報告	P.4
一般質問～町政のここが聞きたい～	P.5～10
わたしの一言・議会のうごき	P.12

6月定例会

6月議会定例会が6月10日から20日までの11日間の会期で開会されました。

一般質問では6人の議員が登壇し、町政について質問しました。

また、議長・副議長の改選があり、委員会構成等の一部変更を行いました。

～町長提案の議案・報告・諮問～

議 案

- 平成24年度藍住町一般会計補正予算の専決処分（※1）の報告と承認……………原案可決
歳入歳出それぞれ1億6,700万円を増額し、予算総額を102億1,700万円とする
- 藍住町税条例の一部改正条例の専決処分の報告と承認……………原案可決
地方税法の一部改正に伴う改正
- 藍住町国民健康保険税条例の一部改正条例の専決処分の報告と承認……………原案可決
地方税法の一部改正に伴う改正
- 藍住町課等設置条例の一部改正条例の専決処分の報告と承認……………原案可決
総務課内に危機管理室を設けるための改正
- 藍住町町民体育館の設置及び管理に関する条例の一部改正……………原案可決
新町民体育館の位置や体育館の使用料を定めるための改正
- 固定資産評価審査委員会委員選任の同意……………岡田 弘

※1 専決処分とは？（地方自治法第179条）

町長が議会を招集する時間的余裕がない場合に町長が議会に替わって、議会が議決すべき条例・予算などの案件を処理すること。

町長が専決処分をした場合は、次の会議で議会へ報告し、承認を求めなければならない。

報 告

- 平成24年度藍住町一般会計繰越明許費（※2）繰越計算書の報告
繰越総額 11億3,982万6,000円
- 平成24年度藍住町特別会計(下水道事業)繰越明許費繰越計算書の報告
繰越総額 3,643万円
- 藍住町土地開発公社の経営状況を説明する書類の提出

※2 繰越明許費とは？

特定の事業や特別の事情(天候の都合など)で、年度内にその支出を終わらない見込のあるもので、予算で定めることにより、翌年度に繰り越して使用できる経費(地方自治法第213条)。

町長は翌年度の5月31日までに繰越計算書を調製し、次の議会の会議で報告しなければならない(地方自治法施行令第146条)。

諮 問

- 人権擁護委員候補者の推薦……………渡邊 章

新議長に 小堀 克夫議員 新副議長に 平石 賢治議員が就任

6月20日に議長選挙及び副議長選挙が行われ、新たな正副議長が決定しました。また、この改選に伴い、委員会構成の一部変更、一部事務組合等議会議員の改選が行われました。

議長就任の御挨拶

議会議長 小堀 克夫



第38代議長
小堀 克夫



第36代副議長
平石 賢治

6月議会定例会において、第38代藍住町議会議長に就任させていただきましたことになりました。誠に光栄に存じますとともに、責任の重さに身の引き締まる思いでございます。

国・地方ともに財政状況は依然として厳しい状況にあり、本町では町民の皆さまの御理解、御協力を頂きながら町を挙げて行財政改革に取り組み、効率的な行政運営と財源確保に努めてまいりました。

こうした中ではありますが、防災対策をはじめ、少子高齢化への対応、教育、福祉の充実、生活環境の整備など、多くの課題に取り組んでいかなくてはなりません。

議会の円滑な運営はもとより、多様化する住民のニーズに応えるよう執行機関と議会が一体となって藍住町の発展と住民福祉の向上を目指し、職責を全うする所存でございます。今後とも皆様方の御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます、就任の御挨拶いたします。

構成を変更した委員会・一部事務組合議会議員

議会運営委員会

就任 佐野 慶一
退任 小堀 克夫

資格審査特別委員会

就任 西川 良夫
委員 小川 幸英
委員 小堀 克夫
退任

板野西部青少年補導センター組合議会議員

就任 小堀 克夫
退任 平石 賢治
江川 博文
西川 良夫

徳島県後期高齢者医療広域連合議会議員

就任 平石 賢治
退任 西川 良夫

町からの主な報告

新拠点都市創造検討会議

徳島市から参加の呼びかけのあった「新拠点都市創造検討会議」については、平成20年に行った市町村合併に関する住民意識調査の結果や本町議会の御意見を尊重し、自立を目指して努力を重ねている最中であり、本町としては参加しないこととさせていただいた。



完成した町民体育館

今後の広域連携事業の推進については「定住自立圏の形成に関する協定」に基づき一層の推進をしていく。

町道及び排水路等

維持業務の民間委託

今年4月から、藍住町建設業協同組合へ委託をしているが、民間事業者の機動力が生かされ、迅速かつ適正に処理されている。今後ともこれまで直営で培ってきたノウハウを引継ぎつつ、民間事業者の活力を生かして住民サービスの向上を図りたい。



町民体育館アリーナ

特別養護老人ホーム

藍寿苑の民間移管

4月に移管先法人選定委員会を設置し、公募に向けて協議していただいていたが、募集要綱、選定基準が決定し、6月11日より募集要綱の配付を開始する。

災害時相互応援協定

9月に予定している三町合同企画展の際に「東吾妻町、愛荘町および藍住町における災害時相互応援協定書」の締結を行うこととなった。

また、徳島県と鳥取県の町村会による相互応援協定も6月6日に協定書の締結が行われた。県域を越えた応援協定は非常に心強いものになると考えている。

職員給与の削減問題

地方公務員の給与削減について国から要請があるが、本町では職員の給与カットや職員数の削減に努め、議会においても議員報酬の減額や定数削減に取り組むなど町独自の行財政改革を行っており、議論を重ねた結果、現時点においては削減をしない方針である。

町民体育館

本年7月末に完成の運びとなり、9月1日から利用できるよう準備を進めている。旧町民体育館の1.5倍の広さで、災害時の避難施設としても対応できるものとなっている。

町民体育館の落成記念行事など

落成記念行事など

9月7日に「あいすむまちの音楽会」を開催する。音楽会はプロの「とくしま国民文化祭記念管弦楽団」通称「とくしま記念オーケストラ」による演奏、公募により選ばれた2人1組のピアニストによる演奏、藍住中学校と東中学校の生徒による共演も予定している。

また、10月にはV・プレミアリーグ等による女子バレーボールの親善試合、来年には日本バスケットボールリーグに参加している男子チームのバスケットボール大会、カローリングの中国大会も計画されている。

請願

1件の請願があり、継続審査となりました。

●原子力発電所に関する請願書

請願者

原発からの撤退、自然エネルギーへの転換を求める徳島県連絡会
代表 服部 敏彦

紹介議員 林 茂 議員

陳情

2件の陳情があり、議員に配付しました。

▼核兵器全面禁止条約の締結に関する陳情書

陳情者

2013年国民平和大行進
徳島県コース実行委員会
実行委員長 山本 正美

▼伊方原発の再稼働を行わず、エネルギー政策の転換により脱原発社会をめざすことを国に求めることに関する陳情

陳情者

さよなら原発徳島実行委員会
代表 藤永 知子

町政のここが聞きたい

一般質問



南海トラフ地震対策の避難者選別

災害弱者・要援護者の優先に努めたい

問 内閣府の作業部会は、

5月28日に南海トラフ巨大地震対策の最終報告をまとめ、自宅を失った人や高齢者、障がい者ら弱者を優先して避難所に受入れ、被災が軽かった人に帰宅を促す「トリアージ」(選別)を導入するように求め、防災対策を要請しています。被災予測と地理的な観点から、選別を実施する役割は、藍住町役場に使用があると考えますが、防災担当者、どのような防災シナリオ及び計画がされているのかを質問します。

震災後に沢山のことが想像を超えた密度で現場に來ます。その中で「トリアージ」の意味する内容は、限られたマンパワー、施設、医療、救護などの能力を無駄のない、効率のよい復旧をする優先順位のことです。



演 眞吉 議員

答 災害時のトリアージについては基準がなく、具体的な提言まではされていない。国・県から詳細が示されたら計画の検討を進めたい。

現状での避難所における災害弱者への対応として、避難者受付カードによる情報入手とともに、避難所内での要援護者スペースの確保や応急救護所を設けることとしている。また、避難所運営マニュアルの作成も行うこととしている。

身体状況や体調などにより必要に応じて病院や福祉関係施設、小中学校などの認定避難施設以外の公共施設等が利用できるような関係機関とも協議・連携したい。



外国語指導助手による小学校教諭対象の夜間英会話教室

小学英語、正式教科の教育委員会対応 今後も魅力ある英語教育を推進したい

問 政府の教育再生実行会

議は、小学英語を正式教科にすることを柱とする国際化社会での人材育成についての提言を安倍首相に提出しました。その内容は、英語を教科化、時数の増加、4年生以下にも教えること

ですが、文部科学省は現在小学5、6年週1回の「外国語活動」の教科に格上げを想定しています。その状況を踏まえ、問題点と今後の準備、到達目標について質問します。

答 本町では従来から積極的に小学校英語に取り組んでおり、平成23年度からの小学校外国語活動必修化に関しても学校現場では特に混乱はなかった。

本年度の新たな取組として、希望する町内の小学校教諭を対象に、週1回夜間英会話教室を開催している。今後、英語が教科として格上げされても、大きな混乱もなく対応できるものと考えられる。

小学校時点での到達目標は、英語が好きで物おじせず、堂々と外国人と会話しようとする姿勢が身についた児童の育成と考えている。

町政のここが聞きたい

一般質問

町営住宅の現況

入居率は5月末現在で71パーセントである

問 各町営住宅の今後の方針と、安任、原団地の退居に伴う対策について、また、各住宅の耐震対策についてお尋ねします。

答 退去が進んだ古い住宅については随時、棟単位で取り壊し、更地にしていきます。

安任団地、原団地は半数以上が空き家となっており、住宅の移動を粘り強く交渉している。附属施設については、退去時の取壊しを指導していきたい。

本年度は敷地団地の耐震診断を計画している。耐震化は財源の確保が重要であり、補助金等の状況を見ながら検討したい。

石川町長の3期目の任期満了に伴う町政への思いについて

11月予定の町長選挙への立候補を決意

問 石川町長の3期12年も残すところ6か月になり、その間、行財政改革、焼却場問題の解決、民営化できることは民営化の実行等により、経費の削減に寄与しました。

答 平成13年12月に町長に就任して以来、一心不乱に町政に取り組んできた。支えていただいた皆さんに心からお礼を申し上げます。



小堀 克夫 議員



公園の整備等

更なる充実を検討したい



勝瑞城館跡の芝生公園

問 ①各公園の整備について、大人・子供たちが休日に楽しく遊べる公園、桜づつみ公園、緑の広場、名田橋運動公園等の更なる整備と、勝瑞地区には、勝瑞城館跡の広い敷地に津波防災を兼ねた公園の整備を特に希望します。その施策についてお尋ねします。

答 ①町内のシンボリックな公園はほぼ充実できたと考えているが、更に内容を充実できないか検討したい。勝瑞城館跡は、史跡の保全を目的としており、どのような整備ができるか文化庁や県と協議し、検討したい。

町政のここが聞きたい

一般質問

防災対策について

家庭内備蓄の推進や自主防災組織の結成促進に努めたい

問 ① 4月13日淡路島で起きたM6超の地震は東海沖から四国沖にかけて延びる海底盆地（南海トラフ）沿いで想定される関連を思わせたが、全国で最悪32万3千人が命を落とすと想定される南海トラフ巨大地震に対してどう立ち向かうか。

② 津波からの早期避難を軸にあまたのソフト、ハード対策を盛り込んだ最終報告が5月28日内閣府の作業部会から示され、国の防災基本報告で3日間を目安としている家庭の備蓄を1週間

答 ① ハザードマップは秋以降に町内全戸に配布予定。現在は避難所の機能強化を中心に取組を進めている。備蓄品、資機材の購入、海拔表示や避難所表示も順次行う。

② 防災講座等では1週間分

の備蓄が必要であることを説明している。今後も広報、A1テレビ、避難訓練時や防災用広報「防災あいずみ」等で周知に努めたい。

③ 災害時引渡しカードを使用し、確認できるよう準備を進めたい。



防災倉庫（藍住東小学校）



藍住町洪水ハザードマップ
(秋以降に町内全戸に配布予定)

スポーツ振興について

町民体育館の完成を機に、一層スポーツ振興に努めたい

問 ① 建設中の町民体育館が本年7月末に完成するが、この町民体育館を核とした町民スポーツ拡大策はどのようなしていくか。

② 障がい者のスポーツ活動支援はどのようにしていくか。

答 ① 「みる」「支える」等スポーツとのかかわり方を広げることも重要。プロ選手による試合等を誘致し、一流選手の競技を観戦でき

る機会を多く設けたい。

② 毎年10月に行われる身体障害者ふれあい大会には、



小川 幸英 議員

スポーツ推進員が参加し、障がい者の支援を行っている。

農業振興について

輸入野菜との差別化を図る取組を進めたい

問 ① 本町は春人参の産地として全国に発信し、定着しているが、後の特産品が少ないと思われる。町として春人参とともに本町発信の特産品づくりをすべきと思うがどうか。

② これから夏に向け草がますます伸びるが、空き地の雑草対策はどのようにしているか。町が把握している空き地等は何件あるか。

答 ① 新作物研究会はこれまで40種類以上の野菜を栽培し、県外からも注目されている。今後も、新しい作物に挑戦する団体への支援を進めたい。

② 毎年巡回調査を行い、除草が必要な場合は所有者に文書を送付している。平成24年度は153件の空き地について通知し、112件が完了している。

その他の質問

◆ 藍文化推進について

町政のここが聞きたい

一般質問



平成24年度朝食アイデア献立コンクール受賞作品
(保健センターに掲示)

子供たちの生活習慣について

行事や体験活動等を通して
子供たちの意識向上を図っている

問 「早寝・早起き・朝ごはん」の国民運動に、更に本町教育委員会では、4月当初から「読書・あいさつ・ウォーキング」を加え、より良い生活習慣の定着を目指していますが、その内容、なかでも「朝ごはん」は、子供たちの健康・活動の原点、基本的な生活習慣を身につけるためにも重要です。取組を尋ねます。

答 各家庭には給食だより等を通じて理解と協力を呼びかけたり、親学講座開催時に基本的な生活習慣形成の重要性を説明している。

食育全般の意識改革と生活改善をねらいとして、本町ではアイデア料理コンクール、藍愛グループや保健センターによる食生活教室、「おにぎり弁当の日」や「自分で作るお弁当の日」を実施し、子供たちにも好評である。

今後も基本的な生活習慣の形成に努めたい。



西岡 恵子 議員

生活習慣病対策について

特定健診の受診推進が重要

答 受診率向上のため、がん検診と同時に受けられる

問 平成24年度の徳島県の糖尿病死亡率が公表され、5年連続で全国1位です。糖尿病を含め生活習慣病対策は、町民の健康保持と、医療費等の抑制につながり、これまで以上に町民への周知はもとより、町内各企業への働きかけも重要です。対策について尋ねます。

集団健診を実施している。電話での受診勧奨や個別訪問による保健指導等に積極的に取り組むたい。企業との取組としては、商工会や農協等の関係団体の総会や役員会に合わせた健康教室を開催。商工会未加入の事業所には保健センター開催の栄養相談、健康相談等の周知や生活習慣病に関する情報の共有を図りたい。

空き家対策について

対策を強化すべき課題である

問 去る、4月13日早朝、淡路島付近を震源とした地震が発生、本町も震度4の揺れがありました。徳島県内の自治体では、地震による老朽化した空き家が引き起こす二次被害に以前より着目し、その具体的対策を既に検討し、徳島市、海陽町、美波町、吉野川市は、除去の補助金制度を実施しています。老朽化した空き家は本町も増加傾向、防災・減災面

答 空き家は私有財産であり、町が法的に撤去を行う権限はないため、現状では所有者を調査した上で適切な管理を促し、自主的な改善をお願いしている。他の市町村の取組を調査し、今後の対策を検討していきたい。

町政のここが聞きたい

一般質問



ロープワーク講習会

ロープワーク講習会の開催

自治会等から
依頼があれば協力したい

問 5月19日、自主防災組織の名田防災会は、町の一斉清掃終了後、防災エキスパート、山本邦一講師を迎えて、防災と暮らしに役立つ「ロープワーク講習会」を行い、防災対応の基礎知識を学ばれました。参加されたJA藍園支所女性部長の呼びかけで、後日、女性部総会後にロープワーク実技を講習され、大変好評でした。町内各自主防災組織、各地区協や学校教育にも対処され、水難事故等人命を守る施策として、ロープワーク講習会の開催を。

答 機会があれば消防団員や町職員の防災訓練等にも実施したい。また、防災講座や自主防災組織など、機会をとらえて広く紹介し、講習や講師派遣の依頼があれば積極的に協力したい。



永瀆 茂樹 議員

脳梗塞、脳卒中、認知症を くい止める対処

早期発見・早期治療が重要

問 ①脳卒中の5つの症状を記載したリーフレットを町内全戸に配布し、朝起きると顔や体の変化を知るために、食卓の周囲に表示して、脳卒中の早期発見を。
②認知症予防安心対策として、NHK・Eテレ認知症機能テストで記憶力改善、町全体の研修会を。

答 ①脳卒中の症状を見逃さないためにも十分な周知が大切である。広報紙への折り込み、A1テレビでの放映、健康教室や健康相談での紹介、各種イベントでの配布等を実施したい。
②早期発見のため、毎年65歳以上の方に生活機能の低下に関する質問票を送付し、認知機能低下が疑われる方には脳の健康教室や運動教室等の介護予防事業への参加を促している。永瀆議員提案の研修会についても検討したい。



電柱に取り付けられた通学路徐行の表示板



破れたのぼり旗

問 昨年配布の通学路「のぼり旗」について、布の素材が薄く安全対策が機能していない。布を厚くし、図柄についても学校支援地域本部、電信柱の通学路徐行の案内板のように、派手な蛍光色が良く目につくので改善の検討、対処を。
答 のぼり旗は、布地の選定や縫製方法を業者と相談し、寿命が長くなるよう工夫したい。また、電柱に取り付けてある表示板は、平成21年に学校支援地域本部補助金により設置した。材質は樹脂でラミネート加工され、全面反射により昼夜問わず安全をPRしているため、新たに導入を検討したい。

児童・生徒の 通学路安全対策

学校・関係機関とともに
安全確保に努めたい

町政のここが聞きたい

一般質問



津波避難訓練での給水体験(藍住東小学校)

災害に備えた取組状況は

防災・減災のため、啓発にも努めたい

問 防災対策は「被害をできるだけ出さないこと、被害をできるだけ小さくすること、効果的な災害対応を行うって被害の拡大を抑えること」だと言われている。①津波避難訓練などの開催状況と今後の計画は。②地震・防災マップづくりで液化化対策と徳島大学の先生との協力共同は。③耐震診断を受けても耐震改修をしていない理由の調査は。



林 茂 議員

④地震対策として家具転倒防止策を普及する広報活動の計画は。⑤火災警報器の設置状況と今後の支援策は。⑥町営住宅の耐震化と今後の計画は。

答 ①昨年度は北小学校と東中学校、本年度は東小学校で実施した。8月には西小学校で実施予定。来年度は南小学校と新町民体育館周辺で行いたい。②平成16年度の調査結果を防災マップに掲載予定。財政面から対策を行うのは難しいが、専門家との調査研究は今後検討したい。

③県が行った耐震診断受診世帯へのアンケート結果では、資金が用意できないためとの回答が多い。④広報への掲載、A1テレビでの放送、案内パンフレットの配付、今年度から発行予定の「防災あいずみ」等で周知したい。⑤板野東部消防組合管内で63・5%。町営住宅の入居世帯はすべて町で設置済み。火災警報器取付支援事業は本年度で終了したい。⑥厳しい財政状況のため実施できていない。本年度は敷地団地の耐震診断を行う予定。耐震化は多額の財源確保が必要であり、財政状況や補助金等の状況を見ながら検討したい。

地元建設業者へ町発注工事の優先を

平成24年度の町内業者請負率は、件数で78.3%、金額で55.2%である

問 町の大切な税金を使う公共工事は、町内の建設業者の仕事を増やすことによって町内に税金が還元され、地域経済が活性化し、町税収も増加する。

①町発注工事は地元業者への発注を増やすと答弁があったが、前年度の状況は。②住宅リフォーム助成制度をつくれば地元零細業者の仕事が増え、他産業の仕事も増やす経済効果があるかどうか。③リフォーム助成制度を実施している県内の実施状況の調査結果は。

健康増進のためにと、パークゴルフ場には町から600万円円支援している。住宅リフォームについても助成制度をつくり、財政支援すべきだ。

答 ①随意契約における町内業者は件数で77・1%、金額で53・4%。②住宅の耐震化推進のため、県の支援事業の協調補助を行っており、今のところ予定していない。③4月1日現在で10市町村。

定例会案内

次の定例会は9月です。
次号は11月に発行します。

●お問い合わせ●
議会事務局 ☎637-3127

本会議を傍聴しませんか

本会議はどなたでも傍聴することができます。傍聴は、本会議当日、先着順に受け付けていますので、議会事務局までお気軽にお越しください。なお、傍聴席の定員には限りがありますので、ご了承ください。

編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。

議会や町政に関するご意見をお寄せください。



投稿規定

- ①住所・氏名・電話番号を明記。
- ②掲載時に匿名を希望する方は申し出てください。
- ③字数は500字以内。
- ④投稿者の多い場合には、掲載月を調整する場合があります。



板野東部消防組合議会議長
永瀆 茂樹

板野東部消防組合議会議長に永瀆 茂樹議員

5月29日に開催された板野東部消防組合議会第1回臨時会において、議長選挙が行われ、議会議長に本町議会の永瀆茂樹議員が就任しました。

建設中の新町民体育館を現場視察

6月議会定例会閉会后、全議員で建設中の新町民体育館を現場視察し、工事関係者から説明を受けました。



藍住町議会定例会の流れ

本会議

開会
提案理由・議案説明
(委員会付託)

提案者から提案理由の説明と議案説明があります。当初予算と決算認定が議案となる3月定例会と9月定例会では、議案の審議を常任委員会に付託します。

休会

(委員会)

議案調査のため休会します。委員会に付託している場合は委員会を開催します。

本会議

一般質問

通告書に基づき、一般質問を行います。一般質問とは、町の行財政全般にわたって説明を求めたり、所信をただしたりするものです。本町では、質問者は開会日の午後5時までに通告書を議長に提出することとしています。また、質問時間は質問・答弁併せて1人1時間以内としています。

休会

本会議

(委員長報告)
質疑
討論・採決
閉会

- ・委員会に付託している場合
委員長報告及び委員報告に対する質疑の後、議案の議決を行います。
- ・委員会に付託していない場合
上程全議案に対する質疑の後、議案の議決を行います。

わたしの一言

富吉 漆原 伯夫さん

その昔、藍住町にも公民館がありました。公民館は、公民館法(国の施策)によって作られた施設でありましたが、藍住町は数十年前にそれを廃止しました。それ以後の社会教育行政は、見るも無惨な遅れです。場所がない、人がいない、理念もないから、金も出ない。

それは、文化行政においてもまたしかり。

次に、見性寺は阿波三好本家の菩提寺で、その境内には歴戦の武将たちの墓碑があります。あわせて「三好大明神」と称した小作りの社や朱塗りの鳥居もそなわっており、その前には鐘楼跡もあって、一つの景観を見せていましたが、現在ではその跡形もありません。これがどういった経緯で廃棄されたのかは知りませんが、残しておくことができなかつたのかと考えるのは、私一人ではないと思います。

文化行政においても、景観への配慮はもちろんのこと、身近な住民や利用者の声を反映した施策の実施を望みます。



見性寺(勝瑞)

議会のうごき

5月

- 7日 松茂町正副議長就任挨拶来庁
- 10日 徳島県町村議会議員研修会(つるぎ町)
- 11日 わんぱくミニ運動会
- 12日 吉野川水防演習(三好市)
- 16日 勝瑞城館跡まつり
- 16日 北島町正副議長就任挨拶来庁
- 17日 藍住中学校体育祭
- 22日 福寿連合会定期総会
- 23日 商工会通常総代会
- 28~29日 全国町村議会議長・副議長研修会(東京)
- 29日 板野東部消防組合議会臨時会(北島町)
- 30日 一日財務局(四国財務行政懇話会)
- 31日 議会運営委員会
- 10日 6月議会定例会開会
- 10日 議会全員協議会
- 17日 議会運営委員会
- 20日 6月議会定例会一般質問
- 20日 6月議会定例会閉会
- 24日 議会運営委員会
- 24日 資格審査特別委員会
- 24日 新町民体育館現場視察
- 24日 板野東部消防組合議会臨時会(北島町)
- 28日 徳島県町村議会議長会臨時総会(徳島市)

6月

7月

- 3日 藍住町防災団総会
- 19日 徳島県町村議会議長会役員会(徳島市)
- 27日 納涼祭開会式
- 29日 徳島県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会(徳島市)
- 30日 議会だより編集委員会
- 30日 第十堰対策意見交換会・第十堰対策促進期成同盟会通常総会(徳島市)
- 31日 徳島県町村議会議長会定例会
- 31日 町村議会議長・事務局長研修(徳島市)



編集後記

早くも6月議会が終わり1年の半分以上が過ぎた。7月には町民体育館が完成した。町民全員参加の体育館であってほしいと思う。

また、7月21日には参議院議員選挙も行われ、新たな国会議員が選出されたところである。

衆議院では本県の選挙区数が1減されたことは誠に遺憾だが、違憲状態にある「1票の格差」是正に向けた緊急措置であることをかんがみ、やむを得ないものと理解している。

今後の抜本的な選挙制度改革に当たっては、単に人口規模だけで判断するのではなく、国土保全に果たす役割や産業・文化の違いなど、地方の実情を十分に踏まえ、住民目線に立った分かりやすい制度となるよう議論していただきたい。

議会だより編集委員会

- 委員長 矢部 秀行
- 副委員長 東 義和
- 委員 西岡 恵子
- 委員 永瀨 茂樹
- 委員 森 志郎